

# 甘楽富岡地区の 原木しいたけ安全管理 の取り組み

富岡森林事務所林業緑化係 外処敬子



# 発表要旨

---

1. 甘楽富岡地区の しいたけ生産・販売方法の特徴

2. 原発事故の被害対策

～ 普及活動による安全・安心な しいたけ生産支援 ～

3. 放射性セシウム対策以外の普及活動の取り組み

4. 甘楽富岡地区の原木しいたけ栽培のこれから



# 1. 甘楽富岡地区の しいたけ生産・販売 方法の特徴



# 甘楽富岡地区のしいたけ栽培の歴史

---

- ◆大正期からしいたけの栽培が行われていた。
- ◆昭和5年頃から各地区でしいたけをまとめて出荷し、東京の神田市場出荷していたが、戦時下で途絶える。
- ◆昭和20年代後半頃から、各地区の椎茸組合等の組織が市場へのお荷を再開。この共販システムは現在でもJA甘楽富岡に受け継がれている。

# JA甘楽富岡共選共販体制

生産者

コンテナ  
による搬入

JAによる  
袋、トレー詰め

JA名で出荷  
価格交渉等  
量の優位性

大手スーパー等

中小規模  
の農家型  
の生産者  
が多い

生産に専念



## 2. 原発事故の被害対策

～ 普及活動による安全・安心な  
しいたけ生産支援 ～



2011年(平成23年)

3月11日に発生した

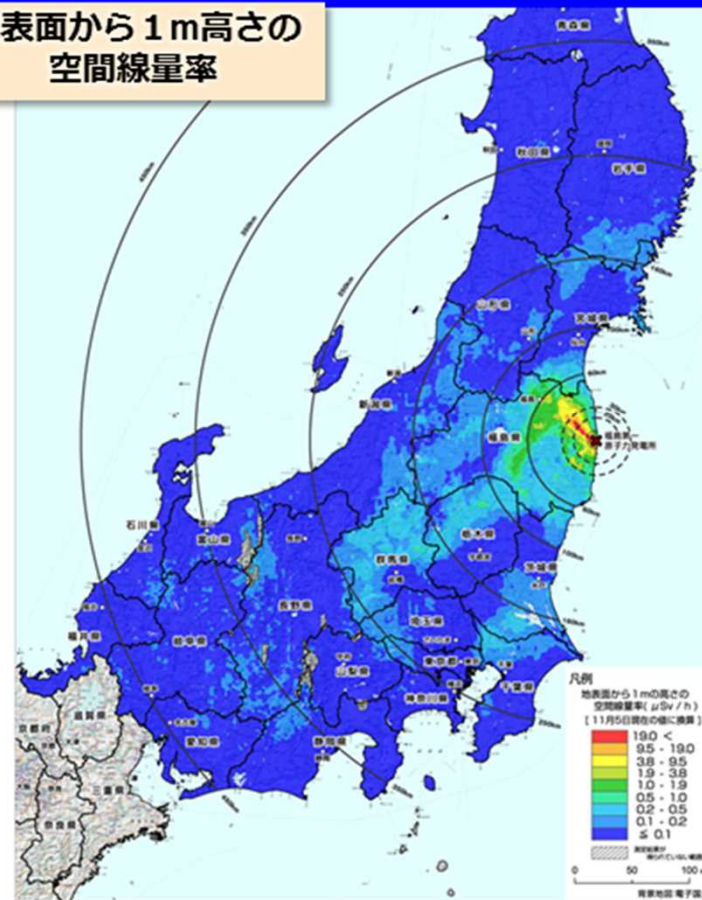
東日本大震災を起因とする

東京電力福島第一原子力発電所事故により、

放射性物質が飛散し群馬県にも到達した。

福島県及びその近隣県における  
航空機モニタリング結果  
(事故直後のデータ)

地表面から1m高さの  
空間線量率



文部科学省発表 平成23年12月16日

μSv/h : マイクロシーベルト/時

# きのこや原木林への影響

---

食品の安全確保のため、放射性セシウム濃度の最大値が設定された

一般食品(きのこを含む)	100ベクレル/kg
きのこ原木及びホダ木	50ベクレル/kg
菌床用オガ粉	200ベクレル/kg



# 放射性セシウムの半減期

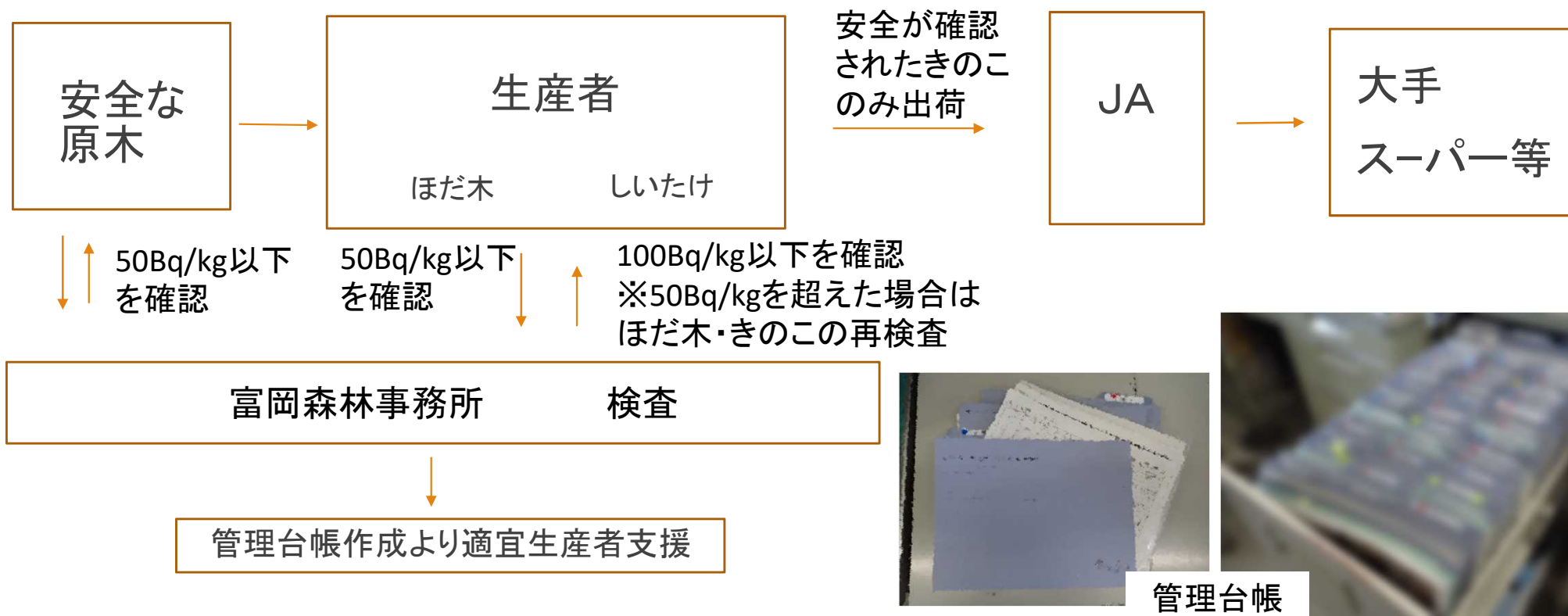
---

セシウム134      約2年

セシウム137      約30年

当面はセシウム137の影響を受けることになる

# 安全・安心なしいたけ生産の取組



# NaI検査の状況



# 対象区域と年間検査数

富岡森林事務所だけでなく、西部環境森林事務所と藤岡森林事務所の管轄区域(西毛)の検査を行っている。

平成24年度から令和2年度の  
年間検査件数(平均)

原木119件

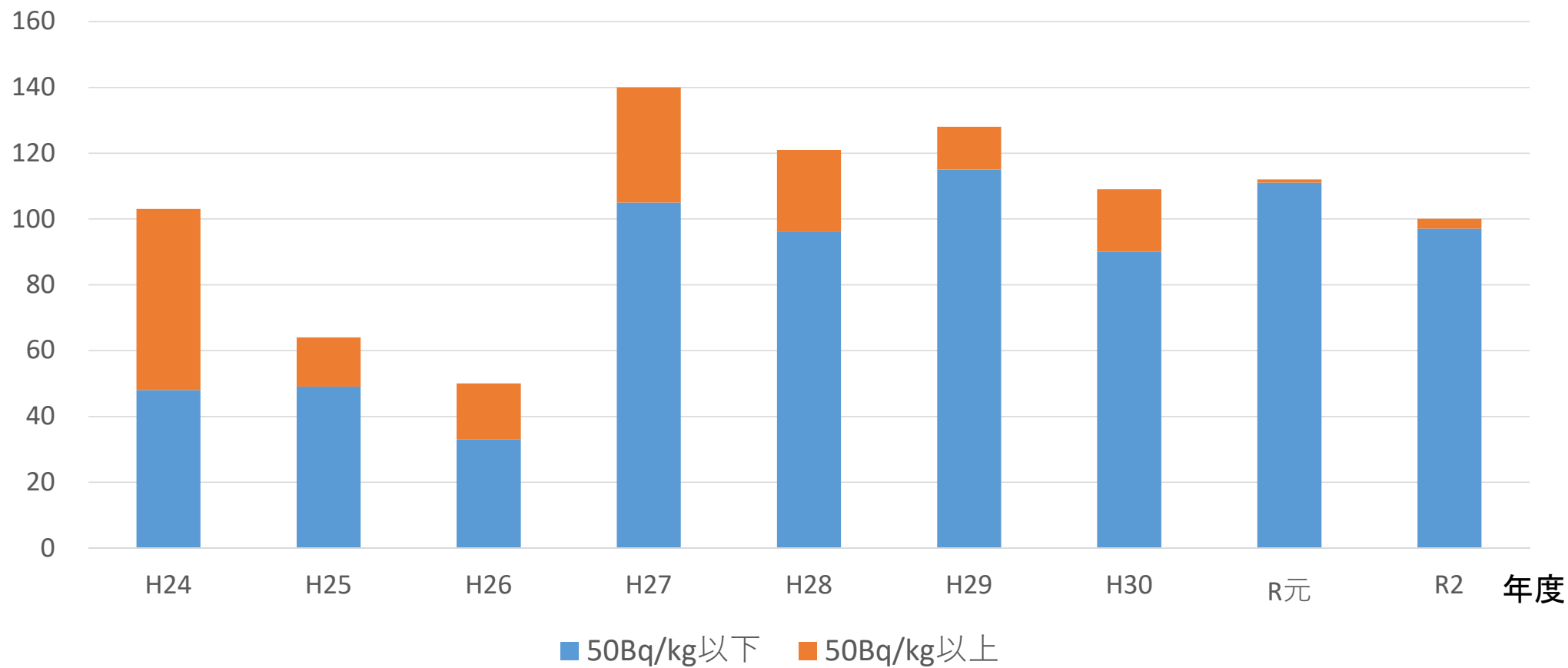
ホダ木208件

きのこ220件

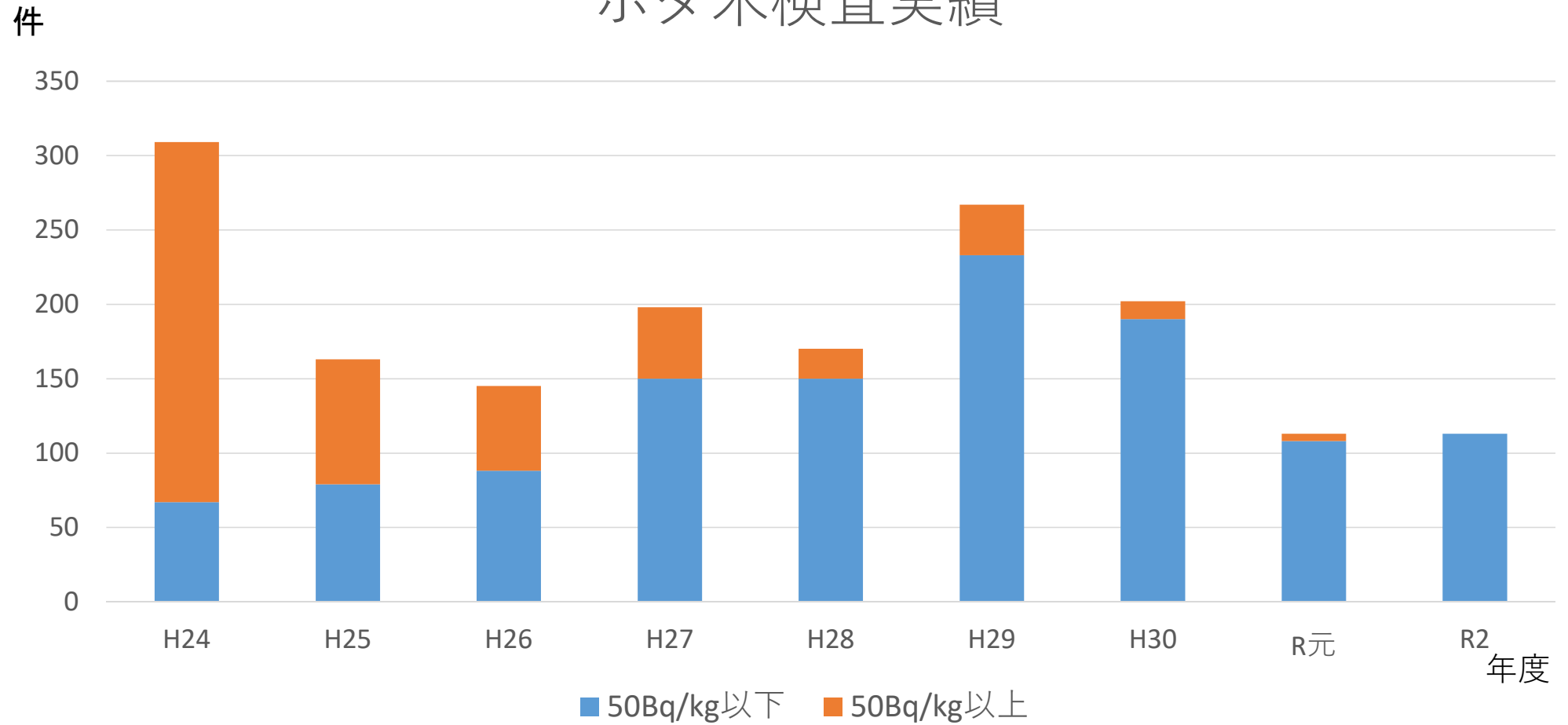


# 原木検査実績

件

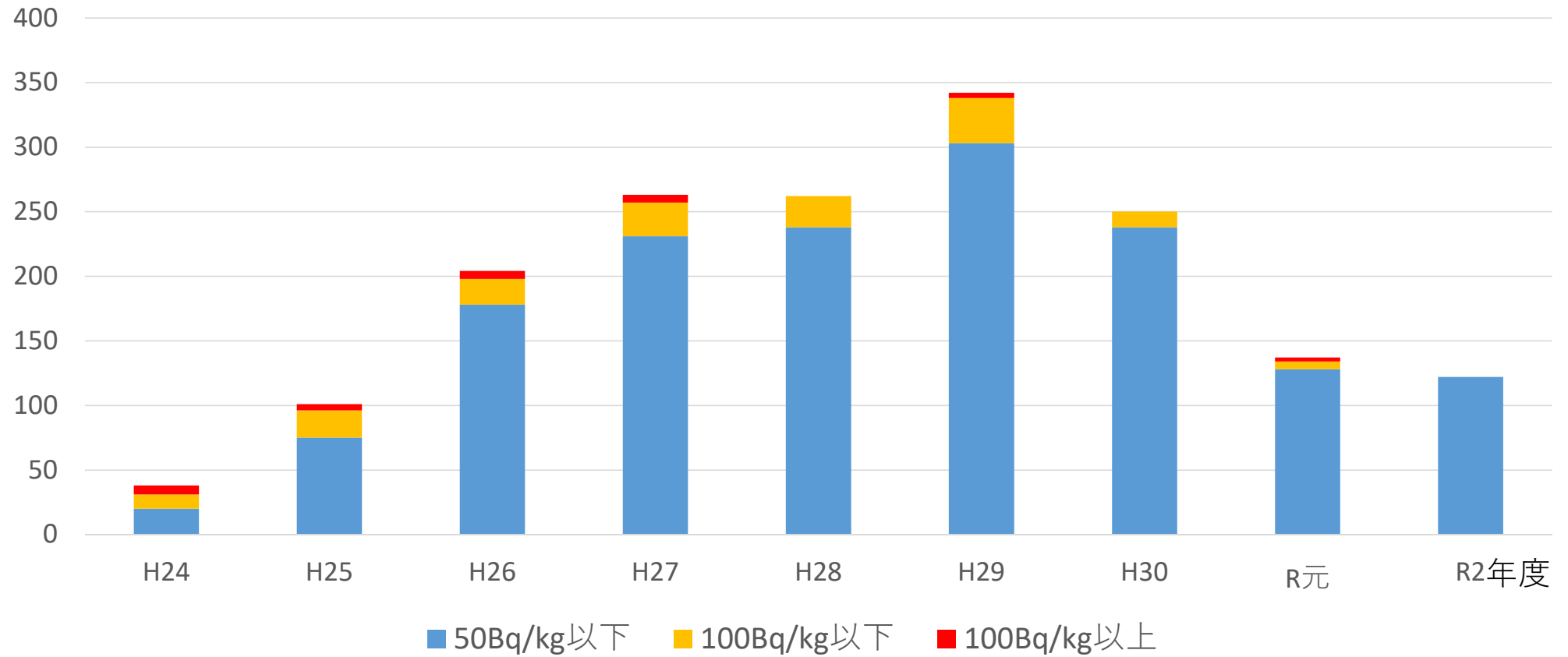


# ホダ木検査実績



# きのこ検査実績

件



# 甘楽富岡地区のしいたけ栽培 事故前と現在の生産量

## 生しいたけ生産区分別生産量

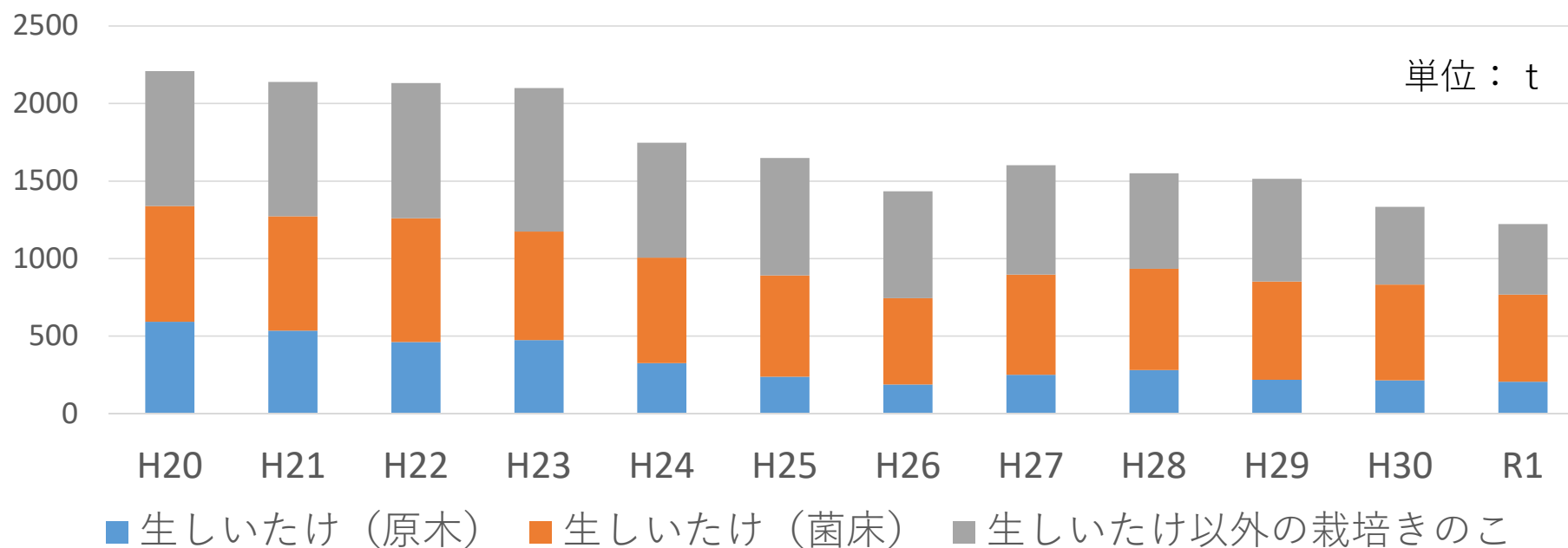
生産者：戸数

生産量：t

年次	原木栽培			菌床栽培			菌床栽培の率 (生産量)
	生産者	生産量	1生産者当たり 生産量	生産者	生産量	1生産者当たり 生産量	
2010 H22	78	461	5.9	44	799	18.2	63%
2020 R2	43	185	4.3	32	588	18.4	76%



# 甘楽富岡地区の 栽培きのこ生産量の推移



平成23年の原発事故以降に生産量が減少した。

# 原木しいたけ生産量が減少した理由①

---

原発事故の影響で安全な原木の確保が困難となった。

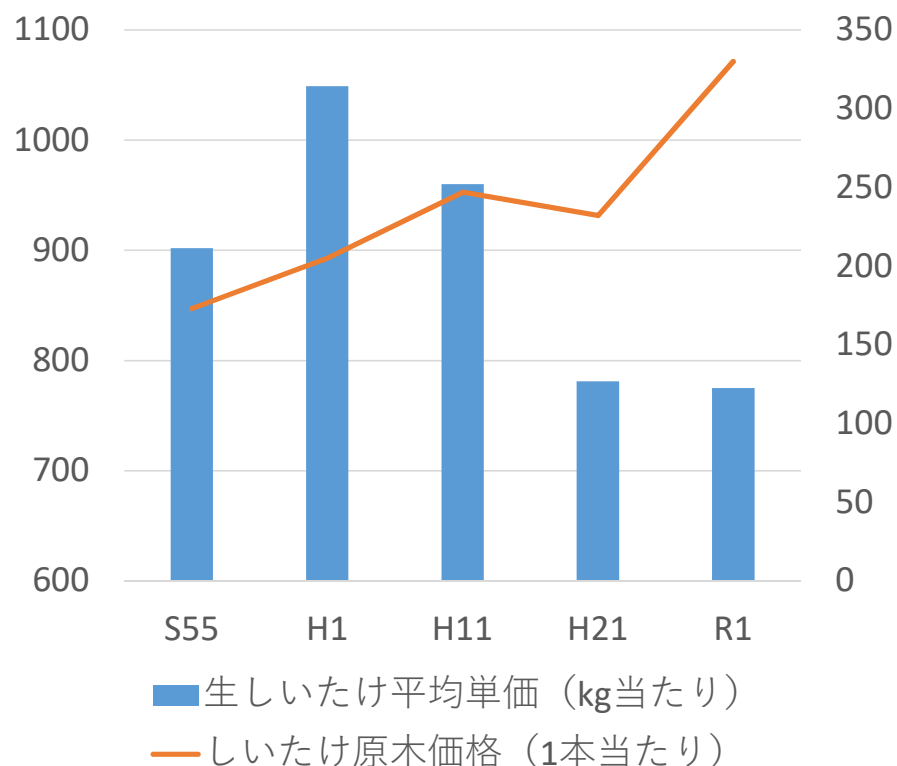
- 一大原木産地だった福島県からの供給の減少
- 県内産でも50ベクレル/kgを超えた原木は使用できない  
また、40ベクレル/kg以上の原木は敬遠される傾向
- 森林は広範囲のため農地のような除染は困難
- 供給減による原木価格の高騰
- 原木生産業者の廃業（高齡などの理由）

## 原木しいたけ生産量が減少した理由②

右図のとおり、原木等経費はあがっているが市場価格は下がっているので収益が減少している。

なお、しいたけ以外の栽培きのこの価格は20年前と同程度となっている(林業白書)。

※生しいたけ平均単価  
県産生しいたけ 東京都中央卸売市場 平均単価(林業振興課調べ)  
※しいたけ原木価格  
令和元年度特用林産基礎資料(林野庁経営課特用林産対策室発行)より。ならの原木単価。



# 3. 放射性セシウム対策 以外の普及活動の 取り組み



# Nal検査以外の 富岡森林事務所の取り組み

---



生産者毎の台帳を作成し、原木の生産地毎のホダ木の管理方法や、きのこの発生時期等を記録し、普及活動で使用している。



# ホダ場診断



例年夏季に、春に植菌したホダ木の活着状況やホダ場管理等について、各生産者を訪問し指導している。

林業試験場のきのこ担当や種菌メーカー等の専門家による指導は生産者に好評だが、令和3年度は感染症対策のため中止となった。

# きのこ普及のための地域の取り組み JA甘楽富岡

---



地元の栽培きのこへの理解を深め愛着を育むことを目的に地域の親子を対象とした原木しいたけ栽培体験イベントを開催した。  
(年4回)



# きのこ普及のための地域の取り組み 群馬県きのこ振興協議会

## 富岡市の給食だより

群馬県きのこ安全・  
安心キャンペーン  
事業で各市町村の  
学校給食に地元産  
きのこを提供した。

給食ニュース

10月13日(水)  
お富ちゃんの日  
～きのこ汁～

今日はお富ちゃんの日です。今日は甘楽郡産の「なめこ」「まいたけ」「しいたけ」を使った「きのこ汁」です。きのこ汁に入っている「こまつな」も甘楽郡産です。地元の恵みいっぱいの「きのこ汁」を味わいましょう。

なめこ      まいたけ      しいたけ

群馬県は全国でも上位の、きのこ生産県だよ。今日は、「きのこ」について、お話しするね。



# 甘楽町の 給食だより

## 給食目標

日本食を見直そう



### 秋においしい「きのこ」



群馬県では、古くから県内各地でしいたけ栽培が盛んに行われており、生産量は全国第4位を誇ります。和食には欠かせない食材です。



### 2種類のしいたけ栽培

#### 原木栽培

コナラやクスギなどの原木に穴をあけてきのこのもととなる「種菌」を植え付けて栽培する方法。ゆっくりと時間をかけて原木を自然の力によって分解させ、しいたけを発生させるため、収穫までには1～2年と手間や労力がかかりますが、肉厚で味が濃く、しいたけ本来の味と香りを楽しめます。



#### 菌床栽培

おがくずに米めかなどの栄養体を混ぜ固めた培地に「種菌」を植え付けて栽培する方法。植えてから収穫するまで3ヶ月ほどと短く、温度や湿度を管理しているため、1年をとおして収穫できます。



11月の給食に使用する「しいたけ」は、「群馬県きのこ振興協議会」から提供していただきます。



をとりまよう!

## 4. 甘楽富岡地区のしいたけ栽培の これから

---

きのこ以外の作物との複合経営が増加する見込み。

香りが高い原木しいたけ生産の灯を絶やさな  
いよう、林業改良普及員が支援したい。

